茅広江の郷 ウォーキングマップ

自然いっぱいの茅広江 歩いて健康づくり

茅広江まちづくり協議会
松阪市茅原町 575 番地（茅広江地区市民センター内）
Tel 0598-34-1001

「茅広江」地区の概要

茅広江地区は茅原町（上茅原、下茅原）と広瀬町で構成されています。明治22年（1889）町村制の施行により飯高郡茅原村・広瀬村（現茅原町・広瀬町）と上出江村・下出江村（現多気町上出江・下出江）とが合併してそれぞれの村の各一字をとって飯高郡茅広江村と命名されました。

昭和30年（1955）4月に松阪市に編入されましたが、8月には、上出江村と下出江村が勢和村（現多気町）に編入されました。

昭和41年3月茅原小学校が廃校になり、茅原町（上茅原、下茅原）は南小学校へ、広瀬町は射和小学校へ合併、中学生は、大江中学校と多気中学校へと校区がわかれました。

昔は農林業が盛んでしたが、兼業農家が多くなり、米作りだけでなく季節の野菜等をファーマーズマーケットに出荷している農家もあります。

茅原町（上茅原）

旧和歌山街道が通っており、「鳥羽見峠」や「七曲り」といったところがあります。近畿自然歩道の一部です。また、上茅原神社の周辺は、満開の桜できれいになります。

茅原町（下茅原）

その昔、多くの参拝客が伊勢神宮をめざして往来した歴史街道の伊勢本街道は、大和の国と伊勢神宮を結ぶ主要な街道でした。参拝者は、「津留の渡し」とよばれる場所で小舟に乗り対岸に渡りました。

下茅原は、お茶作りの盛んなところで、約45年前に茶園が整備され、9ha程で栽培されています。深蒸し茶に加工され、伊勢茶として出荷されています。

広瀬町

茅広江地区の東に位置し、北の大明神山（標高400m）とそれに連なる山々が南の櫛田川にむかって傾斜地を成しています。湧水が豊富でこの水を利用して、稲作をおこなっています。おいしく、評判のよい米がとれます。また、傾斜地のため水はけがよく畑作の適地でもあります。

松阪市における茅広江の場所

茅広江はきれいな水と空気の郷

山からの澄んだ湧き水、季節毎の山野草、鳥の鳴き声、起伏に富んだ田畑等豊かな自然がいっぱいです。櫛田川や六呂木川が流れ、若葉や紅葉等季節の移り変わりも感じられます。また、5月から6月にかけてササユリが咲き、ホタルが飛び交います。

茅広江の彩り

ハルジオン
帰化植物。花期は4～5月。蕾は茎ごとうなだれる。

ムラサキサギゴケ
田畑の少し湿ったところに生息。花期は4～5月。

ツユクサ
朝咲いた花が昼しぼむ。花期は6～9月に青い花が咲く。

シロツメクサ（クローバー）
3枚の小葉が稀に4枚あるものもある。花期は4～12月。

ゲンゲ（レンゲ）
花は良い「ミツ源」になる。根には球状の根粒が付く。花期は4～5月。

ハハコグサ
春の七草（ごぎょう）の1つ。葉と茎には、白い綿毛がある。花期は4～6月。

ホタルブクロ
数個の釣り鐘状の花を穂状につける。赤紫と白色の花がある。花期は6～7月。

モジズリソウ
ネジバナともいう。最も身近な野生蘭。らせん状にねじれた穂状の花。花期は梅雨～夏。

カラスノエンドウ
ヤハズソウが和名だが、一般的には、カラスノエンドウ。花期は3～6月。

ニワゼキショウ
帰化植物。芝生や荒れ地に生息。花期は5～6月。

ノアザミ
葉の縁にとげがある。日当たりのよい草地や林縁に生育する。花期は5～8月。

ドクダミ
日陰の湿った場所を好む。生命力と繁殖力が強い。花期は5～7月。

ヒガンバナ
マンジュシャゲともいう。中国から渡来。田の畔、堤などに生え、秋の彼岸の頃に花が咲く。

ママコノシリヌグイ
小川沿いや沼沢地、湖岸に生息。茎に下向きのトゲがある。花期は晩夏から秋。

セイヨウタンポポ
ヨーロッパ原産の帰化植物。花期は4～10月。

ササユリ
日当たりのよい山地に生息。葉や茎が笹に似ている。花期は5～7月。ピンク色の花が咲く。

ススキ
尾花、茅（かや）ともいい、秋の七草の1つ。穂全体が白っぽくなる。

キツネノマゴ
道端に生える小柄な雑草。花期は8～10月。

ヤブコウジ
十両（ジュウリョウ）ともいう。地下茎で増え、冬に赤い実をつける。

オオイヌノフグリ
花は光によって開閉する。秋に芽を出し、早春に多数の花をつける。帰化植物。

シャガ
やや湿ったところに群生する。アヤメに似た花をつける。花期は4～5月。

ツリガネニンジン
釣り鐘状の青紫の花が咲く。花期は8～10月。

ホトケノザ
この植物は春の七草ではなく、食べられない。花期は3～6月。

ムラサキカタバミ
南アメリカ原産。葉はハート型。花は桃色で、主に夏に咲く。

みなさんはいくつ見つけられるかな？

茅広江の郷 ウォーキングコース

上茅原コース

1 上茅原神社

参道には石段が105段あり、祭殿前にも31段あります。春には桜がきれいに咲きます。

2 三照寺

照見寺・阿弥陀堂・長命庵を合わせ、正保元年(1644)創建された浄土宗のお寺です。

3 しらじん

夜の盗難や火災から守っていただくありがたい神様です。毎年日を決めてお祀りしています。

4 庚申(こうしん)

多くは道ばたにあり、三猿の像を刻んだ石などがたててあります。

5 太田稲荷神社

昭和6年豊川稲荷を受け、毎年2月、組で祭典を行います。

下茅原コース

6 茅原神社

下茅原町民の氏神で昭和29年に第1回御遷宮。境内には、北海道南富良野の開拓事業に身を投じた木田幸次郎氏の頌徳碑があります。

7 浅間山

浅間神社を祀り、毎年6月30日に長い竹の先端に御幣を掲げ、祭りが行なわれます。

8 茶畑

約45年前に整備され、9ha程で栽培されています。

9 津留の渡し

伊勢本街道の下茅原と津留を結ぶ重要な渡し場で、昭和4年に新しい橋ができるまで続きました。

10 帰命寺

浄土宗のお寺です。清光寺・帰命寺を合わせ明治41年帰命寺となりました。

主な名所・旧跡間の距離(km)

上茅原：大田稲荷神社 ← 0.6 ← 旧和歌山街道標識 ← 0.3 ← しらじん ← 0.6 ← 三照寺 ← 0.5 ← 上茅原神社 ← 1.4 ← 茅広江地区市民センター

下茅原：→ 0.4 → 下茅原公民館 → 0.5 → 茅原神社 → 1.2 → 茶畑 → 2.1 → 遙拝所 → 0.1 → 帰命寺

広瀬：→ 0.2 → 天阿上人の墓 → 0.2 → 永正寺・薬師寺 → 0.7 → 八柱神社 → 0.4 → 桜広 → 1.3 → 秋葉山 → 0.2 → 久保三河守屋敷跡

茅広江地区市民センター → 天阿上人の墓：1.5

広瀬コース

11 天阿上人の墓

享保12年(1727)永正寺住職にして浄土宗の高僧で、多くの人に教えを授け、寺院の建立に努められました。村民の困窮の折には食料を援助し、その遺徳は現在まで語り継がれています。

12 永正寺・薬師寺

永正寺は永正2年(1505)創立しましたが、明治2年に焼失し、昭和12年本堂が再建されました。
薬師寺は宝亀3年(772)安置されたとの由来があります。明治6年廃寺となり、永正寺の境内に安置されています。

13 桜広

別名「駒引きの桜」ともいい、北畠家隆盛の頃、この場所が三瀬御所の通路になっていました。

14 王子の森厄落観音

天明の大飢饉(1782～1788)では、悪病厄払いのため天阿上人が勧請されました。毎年初午には、厄年の人などがお参りされます。

15 久保三河の守屋敷跡

国司北畠具教の家臣で侍大将として大河内合戦に参戦しました。地元では久保屋敷と呼ばれています。